

問1 北西太平洋に位置する熱帯低気圧のうち、最大風速が一定以上になったものを台風と呼びます。この台風が日本の九州・沖縄地方に及ぼす影響と人々の対応について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

1. 夏から秋にかけて接近することが多く、強風や大雨による自然災害をもたらすため、事前の備えが重視されている。
2. 突発的に発生する地殻変動が原因であり、大規模な津波を引き起こす可能性があるため、高い防潮堤が築かれている。
3. 一年を通じて発生し、冬には大量の降雪をもたらすため、屋根の傾斜を急にするなどの建築様式がとられている。
4. 活動を休止していた火山が急に噴火することで発生し、農作物に深刻な灰害をもたらすため、防灰ネットが活用されている。

問2 日本の国土を大きく分ける七大地方区分において、宮崎県は福岡県や鹿児島県などとともに、ある一つの広域的なまとまりの中に分類されています。この宮崎県が属する地方区分名を答えなさい。 (2025年 愛知県公立入試 類似)

1. 九州地方
2. 中国・四国地方
3. 近畿地方
4. 中部地方

問3 13世紀に起こった元寇において、朝鮮半島から九州の博多湾を目指した元軍が、九州へ上陸する前に経由・侵攻した、九州の北西に位置する島を選択してください。 (2018年 三重県公立入試 類似)

1. 対馬
2. 壱岐
3. 種子島
4. 淡路島

問4 九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培
2. 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業
3. 広大な土地を利用した乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工
4. 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培

問5 大分県に位置する別府などの地域が、日本を代表する温泉地として多くの観光客を集めている理由について、自然環境と社会活動の関連を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)

1. 火山活動によるマグマの熱が地下水を温め、豊富な温泉資源として観光や文化に活用されているため。
2. カルデラ地形の内側に広がる平坦な土地を利用して、避暑地としてのホテル建設が進められたため。
3. サング礁が発達した浅瀬の海岸線を活かし、年中温暖な気候を利用した海洋レジャーが発展したため。
4. 火山灰が降り積もった水はけの良い土地を活かし、大規模な果樹園を中心とした観光農業が行われているため。

問6 九州地方の各県における農地の構成を比較した際、ある県では全耕地面積の約6割以上が畑地によって占められており、これは全国平均と比べても非常に高い割合です。この県でシラス台地を利用して生産が盛んに行われている農産物や畜産物の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

1. サツマイモ・豚・茶
2. リンゴ・乳牛・小麦
3. さくらんぼ・肉用牛・米
4. みかん・鶏・い草

問7 宮崎県の農業統計において、2020年の品目別生産量で全国1位となっている作物はどれですか。この作物は宮崎平野を中心に盛んに栽培されています。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

1. きゅうり
2. さつまいも
3. てんさい
4. ねぎ

問8 日本の農業における小麦生産について、2018年の収穫量統計において1位の北海道に次いで、2位、3位、9位といずれも全国トップ10にランクインしている九州地方の3つの県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. 福岡県・佐賀県・熊本県
2. 愛知県・群馬県・滋賀県
3. 福岡県・愛知県・静岡県
4. 佐賀県・滋賀県・茨城県

問9 北海道、茨城県、新潟県、鹿児島県の4道県の農業産出額の内訳を比較したとき、鹿児島県の統計的な特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)

1. 総産出額の半分以上を畜産が占めており、その額は3,000億円を超えている
2. 総産出額の半分以上を米が占めており、畜産の割合は極めて低い
3. 野菜の産出額が最も多く、近隣の巨大消費地へ向けた近郊農業が中心となっている
4. 米、野菜、畜産の産出額がほぼ同等であり、特定の部門に偏らない多角経営が行われている

答え合わせ・解説

問1	答え 1 夏から秋にかけて接近することが多く、強風や大雨による自然災害をもたらすため、事前の備えが重視されている。	台風は、低緯度の海上で発生した熱帯低気圧が発達したもので、日本付近には主に夏から秋にかけて接近します。九州・沖縄地方はその経路になりやすく、猛烈な風や激しい雨による被害が繰り返して発生してきました。そのため、ハザードマップの確認や避難体制の整備、住居の補強といった防災・減災への取り組みが地域社会の重要な課題となっています。津波は地震、降雪は冬の季節風、灰害は火山活動に関連するものであり、台風の定義や性質とは異なります。
問2	答え 1 九州地方	日本の七大地方区分（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州）において、宮崎県は九州地方に分類されます。九州地方は九州本島の7県（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）と沖縄県から構成されています。地理的な位置や行政・経済的な結びつきに基づき、このように区分されています。
問3	答え 1 対馬	この島は地理的に朝鮮半島と九州の間に位置しており、古くから大陸との交流の要所でした。鎌倉時代の元寇（文永の役・弘安の役）では、博多に押し寄せる元軍が最初に攻撃を仕掛けてきた場所として、歴史上重要な役割を果たしています。
問4	答え 2 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業	鹿児島県の大半を覆うシラス台地は、水分を保持しにくい性質があるため、水田稲作よりも畑作に適しています。このため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した肉用牛・豚・鶏（ブロイラー）などの畜産業が組み合わせられ、全国有数の農業地帯となりました。他の選択肢のうち、促成栽培は宮崎平野や高知平野、果樹栽培は愛媛県や和歌山県、大規模な酪農は北海道などで顕著に見られる特色です。
問5	答え 1 火山活動によるマグマの熱が地下水を温め、豊富な温泉資源として観光や文化に活用されているため。	大分県は九州地方の火山帯に位置しており、地下のマグマの熱によって地下水が温められ、日本一の湧出量を誇る温泉地が形成されました。この火山活動という自然環境が、別府温泉などの観光産業や、地獄蒸しといった独自の生活文化の基盤となっています。他の選択肢にあるサンゴ礁（沖縄など）やカルデラでの放牧（阿蘇など）は、大分県の温泉資源の説明としては適切ではありません。
問6	答え 1 サツマイモ・豚・茶	鹿児島県は、シラス台地という水はけの良い火山灰層の土地が広いと、古くから乾燥に強いサツマイモの栽培が盛んです。また、広大な台地を利用して豚や肉用牛（黒牛）などの畜産、さらには広大な畑地での茶の栽培も全国トップクラスの規模を誇ります。統計で畑地の割合が極めて高いという特徴から鹿児島県を判断し、その土地利用に適した作物を選ぶことがポイントです。
問7	答え 1 きゅうり	宮崎平野では冬の温暖な気候を利用して、きゅうりの栽培が非常に盛んに行われています。選択肢にある「さつまいも」は隣の鹿児島県、「てんさい」は北海道が主な産地として知られています。宮崎県はこのきゅうりなどの生産において、全国でもトップクラスのシェアを誇ります。
問8	答え 1 福岡県・佐賀県・熊本県	九州地方は北海道に次ぐ小麦の主要な産地であり、2018年の統計では福岡県が全国2位、佐賀県が3位、熊本県が9位となっています。選択肢に含まれる愛知県、群馬県、滋賀県なども小麦の生産が行われていますが、九州地方に属するのは福岡県、佐賀県、熊本県の3県です。九州地方では水田の裏作（米の収穫後、同じ田で別の作物を育てること）として小麦の栽培が盛んに行われてきた歴史的背景があります。
問9	答え 1 総産出額の半分以上を畜産が占めており、その額は3,000億円を超えている	鹿児島県の農業産出額は全国でも上位に位置しますが、その最大の特徴は部門別内訳にあります。米が中心の新潟県や、野菜の割合が高い茨城県とは異なり、鹿児島県は畜産の産出額が非常に大きく、県全体の農業産出額の5割以上を占めています。具体的には豚、肉用牛（黒毛和種）、鶏（ブロイラー）のいずれも全国トップクラスの生産量を誇っており、シラス台地という土地の制約を克服した産業構造となっています。